



ネットヨタ三重&リーガ編集室 presents

新企画スタート!

近畿大学
工業高等専門学校

部活応援隊が行く!!

高校野球部 編

高専初の快挙を目標に、甲子園出場をめざす

近畿大学工業高等専門学校

高校野球部



昨秋は県大会4位、今夏は県スト8と、上位の成績を残す近大高専の野球部。出身の石伊雄太選手は、2024年度ドラフト会議に指名されました。そんな先輩に続くべく、1年生9人、2年生19人が目標達成に向かって奮闘しています。

Q1 どんなチームですか?



キャプテン
岡部 空弥さん
(おかべ たくや)

(伊藤監督) 気持ちのまつすぐな選手が多いです。

Q2 部活を通じて生徒さんに学んでほしいことは?



(伊藤監督) プレーする中で礼儀を身につけ、気配りができるようになれば、それらは社会に出たときにきつと生きてきます。

Q3 キャプテンとして心がけていることは?

(岡部さん) みんなで寮生活をしていますので、言いにくいこともありますが、いいことも悪いことも、部員に伝えられるように心がけています。

Q4 チームの強みは?

(岡部さん) 諦めないこと。点差が開いてしまっても、モチベーションを保って乗り越えています。



Q5 今後の目標は?

(岡部さん) 甲子園出場です。高専自体がまだ甲子園に行けていないので、そこを突破できるように力をつけていきたいです。

(伊藤監督) 最終の夏の大会で勝てるようなチームを目指しています。

Q6 今のチームの課題と重点的な取り組みはなんですか?

(岡部さん) 明るいのはいいけど、度を越えてはいけないので、メリハリを持って練習するようにしています。監督は選手のことを第一に考えてくれています。

(伊藤監督) ティーフエンス力の強化を徹底し、基礎的なことをしっかりと反復練習しています。自主性を伸ばしなから、選手の思いと監督の思いを同じ方向に向けていく共同作業です。夏に向かって彼らに力を蓄えてもらう時間を見失わず、必要なら必要ながら、何をしながら、何をしないといけないのか、今すべきポイントを明確に指示をしています。



顧問 伊藤 康弘監督



二次元コードを読み取ると高校野球部のコメントが見られます。

Q7 部活を通じて取り組んでいきたいこと、学んでほしいことは?

(伊藤監督) 高校生活での部活は2年半と短いですが、グラウンドで野球レベルをあげるのと同じ時に人材教育です。社会に出たときに通用する選手を育てています。OBもよく顔を出してくれ、経験を積んだ先輩からの情報は選手にとって財産になります。

取材協力ありがとうございました!



(左) 松山店長代理 (右) 名張店 川合店長



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!